

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'98

4

月号【1日発行】

「ステージ・アップ」配布場所を掲載
あなたの「お勧め本」の投稿を



いまを話す

木彫人形の初個展を銀座和光で開く
河井 秀子 さん
夫の死↓幼児抱え保母↓趣味で気分転換
46の手習い、70代で大賞

Stage Up 4 月号もくじ/1998年

■ はりきっています グループ紹介
生活に溶け込む「墨」めざす
書友会 (中原区) 3

■ ほんねインタビュー いまを話す
木彫人形の初個展を開く 河井秀子さん 4

夫の死↓幼児抱え保母↓趣味で気分転換
46の手習い、70代で大賞

● 学習・文化情報 / 会員募集 9

□ ミニニュース 13

◆ お勧め本 / 小誌の配布場所一覧 14

□ 編集後記 15

◆ 「あそびの寺子屋」会員募集 裏表紙

◇ 表紙絵……東高根森林公園のしだれ桜 清水幹子さん

(小誌は再生紙を使用しています)

はじめての陶芸

受講者募集

陶芸の基礎から学び、掘り起こし法や紐作り法、板づくり法によって、あなたが制作した世界に一つしかない湯飲み茶碗や花瓶で、もっと日常生活に潤いをもたらしてみませんか

- 期 日——5月16日～来年3月20日の毎月第1、3土曜14～16時、全20回
- 会 場——市青少年創作センター (小田急線生田駅下車、徒歩10分)
- 対 象——市内在住・在勤の20歳以上の初心者
- 受 講 料——28,500円
- 教 材 費——7,000円 (粘土、釉薬代。道具は別)
- 定 員——30人 (定員を超えた場合は抽選)
- 申し込み——4月7日(火)～11日(土)の9～17時に電話か、はがき (11日消印有効) に講座名、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記し、〒211-0004 中原区新丸子東3の473の2、市中小企業・婦人会館内、市生涯学習振興事業団学習事業室 ☎ (422) 3932

はりきってます グループ紹介

生活に溶け込む「墨」めわわ

書友会 (中原区)



「日ごろの連絡やあいさつは電話で、年賀状はワープロという昨今。中原区の「書友会」の四十人は、生活の中にさりげなく取り入れ

る書」を目指し、総合自治会館で毎月二回、金曜日に学んでいる。この日は「白、駒、食、場」の草書。やわらかい筆運びを体得す

るのがネライである。

この四文字は、古今集の詩歌を自ら作り、収集した平安時代の歌人、紀貫之の筆といわれる古今集の一部「高野切」から選んだ。草書は、書体を崩し滑らかに続き書きするが「二つの構造からなる『駒』は崩しすぎると読めなくなりです」と主宰の阿部朱昂・日本書道美術館展審査員は黒板にチークでスラスラと手本を書く。

会員は、そのしなやかな手首の動きに目を凝らしながら、いすに浅く座り、姿勢を正して深呼吸をする。硯の上でゆつくり穂先を整える。見本にしっかりと目を移す。ひと呼吸おいた後、右肩がかすかに揺れ、上半身の微妙な動きがそのまま筆の流れになる。真っ白な半紙に濃淡の墨字が出現する。

だが、自分が心描いた文字とは異なる。「もう一度」と同じ半紙に何度も筆を運ぶ。墨のにおいは心を静めてくれるのか、いらだちの声一つ聞こえない。

一時間後、阿部さんの弟子で講師の斉藤昂葉さん(57)が「最初の筆の入りはとて面白い。次の力一プへの切り替えはもつとやわらかく」と朱墨を入れ添削する。そ

の後ろに立つ伊藤千枝子さん(65)は「書の清潔感が好き。自由自在の筆遣いになれば」と講師の墨跡を追う。各会員は添削された半紙を胸に抱えて席に戻る。上達のため宝物のように。

同会は、中原区の上丸子小のPTAのクラブ活動が始まり。講師ら六人もそこから育った。四年前、主宰の阿部さんが「書を通じて、もつと広く仲間をつくらう」と新聞で募集し発足した。

井上貞子さん(71)はこの日が初受講。「書道は学校の授業以来」と楷書からスタートする。

「気分が乗り集中できます。この緊張感が好き」と書の魅力を話すのは野村君子さん(78)。

井出藤壽さん(64)は「学生のとさから書が続け退職後、大勢の方とお付き合いが目標」と話す。堤耕一さん(65)は大物に取り組むときは、足を踏ん張り、腰をかがめ床に白紙を敷いて書く。

「体力、気力がみなぎり、健康にいいんです」と笑顔。連絡は中原区丸子通一の六三六、(433) 5443の古田さん。

文 / 小誌・井上徳子
カメラ / 小誌・山本綾子

心技一体で線作り
夢は自在の筆遣い

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

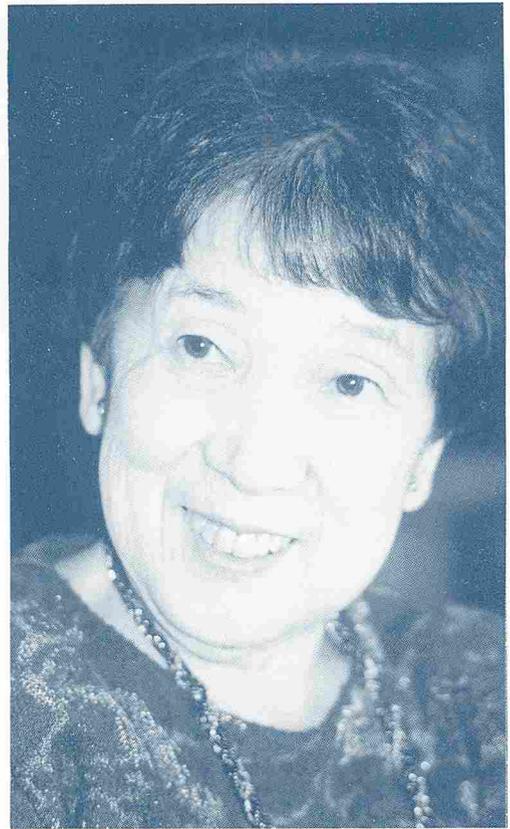
いまを話す

木彫人形の初個展を開く

河井 秀子 さん

ゲスト

Vol.63



——六月に初めて個展をお開きになるそうで、お忙しい毎日をお過ごしのようにですね。

河井さん そうなんです。個展の前に塾展がありますし、銀座和光で創作ひな人形展もあります。

——お人形を作る時間が足りないのではないですか。

河井さん 結局は寝る時間をつぶすより仕方がないですね(笑顔で)。期限が迫ってきますと一日三、四時間の睡眠になります。師匠(桐彩会の芹川英子代表)に「計画を立て、早めに作品を仕上

げ、それを飾って何度も見て、直すところは直すことも大切」と言われているんですが……。

——一日のほとんどを創作に充てていらっしゃるのですか。

河井さん このところ、娘の会社の手伝いをしている比重も大きいので、家のことは姉にほとんど任せっきりで、私はお人形に明け暮れる毎日です。

——協力してくださるお姉さまが一緒でよかったですね。ところで、先生についてお人形作りを始めたのはいつごろですか。

夫の死↓幼児抱え保母↓趣味で気分転換 46の手習い、70代で大賞

先月の「ひな祭り」は、雛人形を飾り女の子の健やかな成長を祈念する伝統行事。麻生区王禅寺に住む河井秀子さんは、さまざまな子供をモチーフに、その心と姿、動きを桐の木に託す木彫人形作家。七十四歳の今年六月、「銀座和光」で初の個展を開く。夫を失い敗戦、幼児を抱えて保母に。四十六歳のとき仕事のストレスを癒そうと始めた人形作り。それが、「いつの間にか生活の中心に」と心底楽しそつに笑う。題材を決め綿密な取材をする。作品が出来上がるまでには三、四カ月を費やすが「それがとつても楽しいのね」と本人。災いの神が裸足で逃げ出しそうな楽道家である。インタビューアは、フリーアナウンサーで川崎区在住の寺本由美子さん。

河井さん 四十六歳のときでした。当時は、東京・世田谷区立保育園の園長をしておりました。昭和三十八年ごろ「ポストの数ほど保育園を建てよう」と、どんどん新しい保育園ができた時代です。保母が足りなくて、全国各地で募集しました。東京都は、寮を完備し、魅力的PRをして、短期間にたくさんのお母を採用しました。

一つの保育園に三十人の職員が必要なんです。経験者は四、五人という状況になりました。

——経験のある一人の保母さんが六、七人の新人保母さんの教育をしたのですか。

かわいい孫が最初のモデル 「似ていない」に発奮

河井さん ええ。新人保育はそれぞれ出身地が違い、そういう状況の中で、力を合わせて保育をすることは大変でした。

——当時の園長さんのご苦労、



分かります。若い保育さん、ホームシックにもなったでしょうね。

河井さん 家庭での園児のようすと、園での生活などを記した保育日誌を勤務中に見る時間があります。家で戻って深夜まで読んで、コメントを書き添えました。私たちが毎日相手にしているのは、モノではなく子供ですので、現場はそれこそ戦場のようでした。

——そのさまが目には浮かびます。

河井さん ところが、現場をよく理解していない方々から、理不尽な要求がいつばいきましたね。

——ストレス、たまりますね。

河井さん 要求は大人の都合が多いんです。「子供を守っていくのは現場の私達」との自負と、「どんなことがあっても保育の仕事は続ける」との思いから「負けてはられない」と。そのとき、姉が「気分転換に、お人形づくりでも始めたら」と勧めてくれました。

——お人形作りのご経緯は。

河井さん 子供のころ、勉強そっちのけでお人形の絵を描くのが大好きでした。戦争中、布製のお人形を作って慰問袋に入れたこともありました。

——木彫人形を作ることになったのは、たまたまですか。

河井さん 姉のお友達に木彫人形を作っていた方がいて、その方のご紹介で、芹川先生に出会ったわけです。仕事を終えて夜教えて

いただくことをお願いしました。その当時、夜の生徒は二人でした。——どのようにして学んだのですか。

河井さん 最初は、方眼紙に三歳の子供の姿と、成人の女性の姿を描くことから始めました。師匠のまた師匠が、書きさされたものをお手本にしましたが、顔を何等分にしたところに目があり、何等分した幅のところに鼻がどこまでくるといようなものでした。

——それを正確に写すのですね。



第37回日本伝統工芸展「兄弟喧嘩のあと……」

河井さん そうです。その次に四角い木から頭の部分だけを作ります。私は、孫のあどけない表情を作りたくて。ですから、木彫の最初のモデルは孫です。五つ、六つ作りました。その後、子供の体形がはつきり出る立ち姿を彫っていきます。着衣の部分も彫るので、はじめは襟もない比較的簡単なトレーナー姿でした。

——そのころ、お孫さんは何歳くらいですか。

河井さん よちよち歩きのところだったと思います。

——お孫さんは、可愛い盛りですから、創作意欲がわきますね。

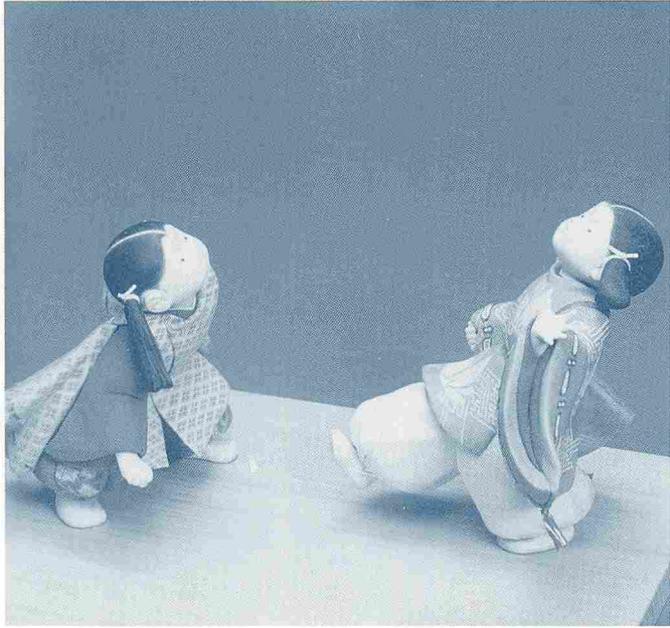
河井さん ええ。でも、ぜんぜん孫に似ないの。孫の写真と木彫を先生に見ていただくと「もう一度、基本をよく見てもらいなさい」と助言されました。子供の顔の寸法をやり直しましたら、よく似まして……。つまり、日本人の顔の骨格というのはほとんど一緒で、肉付きとか目の大きさなどで違ってくるだけなんです(楽しそうに)。

——そのときの基本は、今でも変わらないわけですね。

河井さん そうです。その基本

保母の信念 問題児は1人もいない 柔軟さ欠く大人の接し方

第42回日本伝統工芸展
「蹴鞠あそび」
東京都知事賞



をしつかりつかんでいると、特徴もつかみやすいということですが。——最初のころ、お孫さんをモデルに作品をお作りになられましたね。子供の成長はとも早いのですが、お孫さんが成人になられたも、作品のモデルは、ずっと子供たちですが、そのわけは……。

河井さん 私が木彫人形を始めしたのは気分転換のためでしたが、保育園の園長は定年まで続けるつもりでおりました。苦労はありましたが、職員が丸となって同じ目標に向かっていったときでしたから。ところが、定年目前に肩たたくにあいまして。

河井さん あらあら。河井さん その時期、孫が三人になって、時々預かっていたのですが、その面倒まで姉に押し付けていたんですね。周りの状況も考え「ちょうど潮時かな」と辞めることにしました。退職のとき、一緒に頑張った保母さんから「保育園をお辞めになっても、お人形のモデルは保育園の子供たちにしてください」と言われたんですね。

河井さん その言葉をずっと守っていらしたんですか。河井さん そうね。五年ほどは保育園の園児と保母さんのかかわりを題材にしたものを作り続けました。でも、公募展に出品しますと、毎回同じような題材で、そこから抜け出せない作品を審査員は覚えているのですよ。「これではいけない」との思いと師匠の「テーマを変えてみては」との言葉もあって、方向転換しました。

河井さん 一緒に過ごした子供たちを題材に作品をお作りになった際、いろいろな場面での子供たちの表情が浮かんできたと思います。河井さん みんないい子でした。大人を困らせることが続くと、問題児にしてしまいがちですが、そんな子は一人もいませんでした。家庭に問題のあるケースはありますが、その子は元気で活発でわざと大人を困らせるのです。「子供

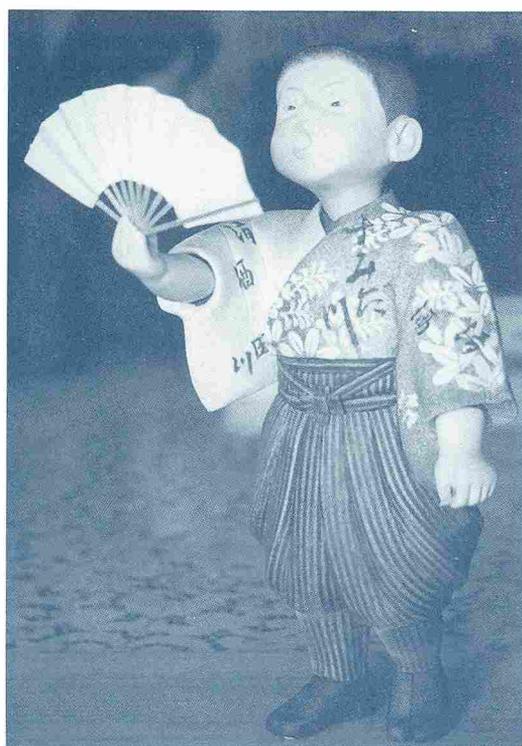
への接し方を考えなければ」と思いました。

河井さん 木彫をしていますと、木も生きものですから、彫る角度によって手応えが違います。特に、顔のようなむずかしい部分を彫るとき、一方からだけ彫ろうとすると、うまくいかないんです。逆の方向から彫ってみますと、すんなりいくことがあります。

河井さん ええ。みんな必ずいいところを持っているんです。保母と同じことがいえると。

河井 秀子 さん

かわい・ひでこは1924年、東京都大田区生まれ。43年、東京府立第一高等女学校卒。53年、東京都立保育園保母。63年から19年間、世田谷区立保育園園長。71年から、人形作家の芹川英子・桐彩会代表に師事。82年、日本伝統工芸展で初入選。89年から96年までに伝統工芸人形展奨励賞、同展優秀賞、伝統工芸新作展優秀賞、日本伝統工芸展都知事賞などを受賞。97年、伝統工芸新作展鑑査委員、日本伝統工芸展鑑査委員。同年、ハンガリーの桐彩会展。現在、日本工芸会正会員、桐彩会会員。麻生区王禅寺在住。



新作の「呼出し」

「現場」へカメラ持ち取材

題材の真実性にこだわる

母や父母が一方からだけ見ていてはいけない。逆から見られる柔軟さがあれば、子供の反応は違ってくるはず。このことは保育の場でも話してきました。木彫を始めたことが、保育の中でつまづいたとき、功を奏すようなことが度々ありましたね（うなずく）。

——それは素晴らしいですね。
河井さん 木彫はむずかしいの

で、彫っている間は、本当に何もかも忘れて無心になれるんです。そのお陰で、翌日はすっきりとした顔で保育園に行けたと思います。モチーフを保育園児から変える決意をされましたが。

河井さん 題材を変えることにしましたが、私、子供のほからは作れなくなっていたんです。木彫を始めた年も遅かったですから「い

まから、新しいものに挑戦して、それを自分のものにするより、それまで大事にしてきた『子供』に磨きをかけるほうが、無理なく心楽しい」と思いました。そんなとき、テレビを見ていましたら、いろんな場面で子供が活躍しているのに気が付いたんです。

——たとえば……。

河井さん 相撲の行司、呼出しですとか、木場の角乗とか……。

——そういう題材を見つけて、それからどうなさるんですか。
河井さん 新聞とかテレビで見



第36回日本伝統工芸展
「御年始まわり」

たら、ビデオカメラを片手に取材にでかけます。流鏝馬のときは、宗家に通い、その歴史や心、練習方法を勉強し、本番を何度も拝見しました。

——私は、河井さんの作品「蹴鞠あそび」がとても好きですが、あれも取材されたのですか。

河井さん ええ。毎日新聞のカラー写真が印象的で、早速、奈良県の談山神社に電話を掛け、京都に保存会があることを知りました。その後、保存会の会長さんにいろいろお聞きしました。蹴鞠も歴史が深く、非常に格式があつて服装、烏帽子、履物にも位があるんですね。「遊びとして、子供がどんな服装で蹴鞠をしたか」については、古い文献を調べて下さいました。その資料をもとに作ったのがあの作品です。

——歴史的な裏打ちもしっかりしているんですね。

河井さん 調べるのが面白くて、やめられなくなるんです。

——写真を見ただけでも、できるような気もしますが。

河井さん 作品を見る人の目は大変厳しくて、クレームがつくことがあるんです。そのとき、ちゃ

んとお答えできませんと、作品の価値まで下げてしまうことになり
ます(きつぱりと)。

—— どういうクレームが……。
河井さん 「弓の長さや矢の差し方が違うのではないか」といったことです。いい加減な目測で弓の長さを決めたりできないんです。
—— 一つの作品が完成するまでに地道な努力がいるんですね。
河井さん 目についたものはす



べてメモしておき、問い合わせのできるところには、電話を入れませす。そして、時間ができたときに取材に出掛けます。作品にはなっていないませんが、題材はいっぱいあるんです。

—— 彫り始めから、どれくらいかかりますか。
河井さん 彫るのに一カ月。衣装を着けて仕上げるまでに二カ月。三カ月以上かかりますね。

—— スピードを競う時代ですが、ゆつくりと、ていねいに作品づくりをなさっているんですね。木彫りをされている方は多いのですか。

河井さん 多いとはいえませんがね。手間ひまのかかる作業ですから「ちよつとやってみようか」では長続きしません。でも、その良さを理解する人が必ずいて、私の師匠のところでは公募展で賞を取る人たちが育っています。私の孫の一人が興味を示していますので、願いを託しているんです。

—— いつか、お孫さんとの「二人展」が実現するといいですね。
河井さん それは、私の夢です(目を輝かせて)。

—— ここまで長続きた秘訣を教えてくださいませんか。
河井さん ただただ夢中になれたから、長続きたのだと思います。私は、いやなことを忘れるために始めたわけで「これで身を立てよう」との気負いはなかったの

です。でも、気がつくと夢中になっていて、いつの間にかそれが生活の中心になっていったということです。

—— いま、一番ほしいものは。
河井さん 時間ですね。「忙しい」という字は心を失うと書きま

すから、気をつけなくては思うんですけれど。
—— でも、楽しくて忙しいのはいいと思いますか。
河井さん そうですね。実は、本当に楽しいと思えるようになったのは最近のことなんです。作業

寺本由美子さん



木彫人形 ゆつくり、ていねいが命
夢は孫との「二人展」

寺本由美子さん

てらもと・ゆみこ=1957年、名古屋市生まれ。80年、東海テレビアナウンサー。82年、東海大学卒。同年、東海テレビアナウンサー退社。その後、愛知県教委「どろん子」のメインキャスター。現在、かわさき市アカデミーで表現コース「こぼと映像」の講師。川崎区在住。

をして肩が凝るようなこともありませんし、幸せだと思います。

—— 新百合ヶ丘駅周辺を「芸術のまち」にする構想が川崎市にあります。これを機会に多くの市民の方に木彫人形の素晴らしさを知ってもらいたいと思いますが。

河井さん 木を彫るって、とっても楽しいことなんです。みなさんのお役に立つことがあれば、うれしいですね。

題字は高橋清・川崎市長
構成/富樫 恭子
文責/田中 園

河井秀子さんの初個展 「銀座和光」六階ホールで、六月十三日(土)十九日(金)午前十時三十分より午後六時(日曜定休、最終日午後五時閉展)。「銀座和光」は ☎ 03(3562) 2111。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

「手話入門講習会◆市北部身体障害者福祉会館」5月19日～6月23日の毎週火曜18時半から、全6回。無料。初心者45人(抽選)。申し込みは4月25日(土)までに往復はがきと同講習会希望、住所、氏名、☎を記し〒213-0000 高津区溝口の18の16、同館。☎(811)6631。

「わくわく実験教室」天候つてなくに◆東芝科学館」4月11日(土)10時と13時から。実験を交え解説。無料。当日先着各250人。問い合わせ☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

「ことばの寺小屋◆登戸ドレスメーカー学院」4月21日(火)10時から。会場を和ませる司会、あがらないスピーチ、朗読のポイントを学ぶ。千円。先着15人。申し込みは午前中に☎(91

1)2221の同学院。向ヶ丘遊園駅下車。

①社交ダンス短期集中講座②社交ダンス教室◆川崎市民プラザ」①は4月29日(木)～5月5日(木)10時から、全7回。ルンバ、チャチャチャを基礎から学ぶ。対象は初級、中級者。受講料1万円②は5月9日～7月18日の毎週土曜、9時から中級者▽10時55分からは初級者、全10回。ブルース、ジルバ、ワルツ、タンゴ。受講料1万2千円。定員は男女先着各①15人②40人。申し込みは①4月1日(木)②16日(木)から、受講料を添え来館。☎(888)3131。

「和光大学オープンカレッジ◆同大学ばいであホール他」5月11日(月)から始まる50講座の受講者を募集。アジアの諸言語▽技術とくらし▽描く・話す・創る▽歴史と芸術文化を学ぶ▽社会と人間を考えるがテーマ。週1回百分、全6～20回。受講料は9千～3万円。定

員先着各10～30人。申し込みは4月20日(月)までに申込用紙を郵送。資料請求は☎044(988)1433の同大学・大学開放係。鶴川駅下車。

①考古学最新情報②フアイバーワークく布を織る③毛筆書写④表現工房くフト⑤生き物ウオッチングく春期⑥ガーデニング入門◆玉川大学」①は5月19日～6月16日(9日を除く)毎週火曜18時から。遺物に触れ、先史時代観を考え、発掘調査も。1万5千円②は5月9日～来年3月の月1回、第2か第4土曜10時から、全12回。教材費込み9万円③は5月12日～7月14日の毎週火曜17時半から、全10回。のし袋、色紙の書き方を学ぶ。3万円④は4月25日～6月27日の第2・4土曜13時から、全5回。構図などの技術。2万円。カメラ持参⑤は5月2日(土)6月5日(金)7月3日(水)の午前、全3回。大学構内の植

物、多摩丘陵の小型猛鳥類の生態を観察。1万円⑥は5月6日～7月1日の第1・3水曜13時半から、全5回。山野草や観葉植物、ハーブで。受講料2万7千円、特別研修費は別。講師は同大学教授ら。定員は先着15～30人。申し込みは☎0427(39)8895の同大学継続学習センター。玉川学園前駅下車。

「講習会①シンビジウム育て方②春まき草花の育て方◆市緑化センター」①は4月22日(水)②は5月13日(水)。いずれも13時半から。教材費①3千円②5百円。定員各30人(抽選)。申し込みは①4月14日(火)②30日(木)までに往復はがき(1人1枚)に講習会名、住所、氏名、☎を記し〒214-0021多摩区宿河原6の14の1、同センター。☎(911)2177。

「国際語エスペラント入門講座◆市中小企業・婦人会館」5月15日～7月17日

の毎週金曜19時から、全10回。ゲームを取り入れ楽しく。テキスト・資料代込み一般7千円、中・高生4千円。申し込みは18時以降☎(533)1906の川崎エスペラント会の北川さん。

①健康教室く糖尿病②ヘルシークッキング◆麻生老人福祉センター」①は5月19日(火)13時半から。病氣と上手に付き合う方法を。講師は内田光枝・医師、佐伯知美・管理栄養士。無料先着40人②は5月20日(水)と27日(水)9時半から。どちらか選ぶ。1600キロカロリーのメニューで調理実習5百円。先着各20人。対象は60歳以上。申し込みは①4月16日(水)②17日(金)から☎(966)1549の同館。

「ミュージアムトークく「人人会」って何?◆中村正義の美術館」4月11日(土)16時半から。佐熊桂一郎・同会創立会員と大野俊治・豊橋市美術館学芸員が対談。入館料込み千円。問

市外局番のないものは044

学習・文化情報

学習・文化情報

参加したい催しがある

い合わせは☎(953) 4936の同館。読売ランド前駅からバス。

「パソコン研修◆市産業振興会館」4〜6月に開催

する初心者から経験者、中高年齢者向けの17講座の受講者募集。内容は、パソコン、ワープロ、表計算、データーベース、Windows 95、インターネット、デジタル写真加工。受講料1〜7万円。問い合わせは☎(548) 4119の市産業振興財団・情報開発課。

「手話ボランティア入門講習会◆市中部身体障害者福祉会館」5月22日〜6月26日の毎週金曜10時から、全6回。講師は手話サークル「かけはし」会員。教材費のみ300円。40人(抽選)。申し込みは4月16日(木)〜5月12日(火)に、往復はがきに



催し

「おやしサミット in 川崎◆新百合21ビル」4月4日(土)13時から。地域で、父親として何が出来るかを考える。シナリオライター、

住所、氏名、年齢、☎を記し〒211-0068 中央区小杉御殿町2の1-4の1、同館。☎(733) 9675。

「①能と狂言に親しむ②音楽と心の癒し③フランス人と国④フォト入門◆中原市民館」①は5月12日〜7月14日の毎週火曜。講師は能楽ジャーナル主宰、堀上謙さん②は5月6日〜7月8日の毎週水曜③は5月7日〜7月16日の毎週木曜。講師は相良匡俊・法政大教授④は5月8日〜7月17日(22日を除く)の毎週金曜

初心者向け実践講座。講師は熊切圭介・日本写真家協会。教材費のみ実費。いずれも全10回。対象は15歳以上。時間は①③14時から②④10時から。定員30〜40人(抽選)。申し込みは4月

山田太一さんの記念講演▽県のおやじの会の活動紹介と交流。無料。当日直接。問い合わせは☎(976) 0303の太下さん。「はり絵作品展・体験教室◆川崎市民プラザ」4月9日(木)〜12日(日)10時〜16時

22日(水)10時に来館。☎(722) 7171。

「①春の文化講座②社会人学級③高齢者教室」ほのぼのセミナー④保育ボランティア養成講座◆中原市民館」①は4月24日(金)13時半から。「中国の都市と産学の近代化」を小川一朗・立正大名誉教授が。無料②は5月8日〜来年2月17日の毎週火・水・金曜18時15分から。中学の国語、数学、英語の基礎を学ぶ。15歳以上。無料、教材費は実費③は5月13日〜7月15日の毎週水曜14時から、全10回。詩、民話、健康、救急法を学ぶ。6歳以上④は5月21日〜7月16日(25日を除く)の毎週木曜10時から、全10回。無料。2歳以上の有料保育あり。定員は先着30〜60人(②のみ抽選)。申し

込みは①4月17日(金)②16日(木)③30日(木)④5月7日(木)の10時から☎(722) 7171の同館。

半。手漉き和紙を使用した豊国輝の花絵を展示▽体験教室は11日(土)12日(日)13時から。当日先着10人。無料。問い合わせは☎(888) 3131の同プラザ。「①星を見る夕べ②星の撮影教室③小・中学生天文

「①知的障害者青年教室」ヤングジャンプセミナー②春の幼児学級◆中原市民館」①は4月19日〜来年3月21日の第3日曜13時から、全12回。ハイキング、パーティーで豊かな人間関係を作る。知的障害者で一人でも来館できる青年。保険料400円、交通費・教材費は実費。先着40人。ボランティアアスタツフも募集②は5月15日〜7月24日の毎週金曜10時から、全10回。市内の3歳児とその親。教材費、保険料のみ実費。定員20組(抽選)。申し込みは①4月19日(日)13時②5月8日(金)10時に来館。☎(722) 7171の同館。

教室◆市青少年科学館」①は4月4・25日(土)19時から、プレセペ星団を眺望。雨、曇りはプラネタリウム②は5月1日(金)19時から月齢5日の月を撮影。雨天中止。持参品あり。先着10人③は5月17日〜来年3月21

日の毎月1回日曜17時から全11回。星座探し、天文の学習。小学4年〜中学生。先着30人②は無料③は千円。申し込みは①当日直接②4月17日(金)③4月15日(水)9時から☎(922) 4731の同館。

「日本サクラソウ展◆市緑化センター」4月15日(水)〜28日(火)。2百品種を展示。問い合わせは☎(911) 2177の同センター。「①ボランティア募集②学級・セミナー企画委員募集◆麻生市民館」①は知的障害の青年たちの余暇・社会参加活動の場「青年教室」▽小学校高学年の子供の仲間づくりの場「冒険クラブ」の支援。活動は月1回②は平和・人権尊重学級「21世紀の平和」▽女性セミナー「女性学の視点から考える」▽子育て交流集会(0歳〜就学前の子の親が対象)の企画・運営する人募集。申し込みは①随時②4月15日(水)10時から☎(951) 1300の同館。

「県登録文化財探訪」二ヶ領用水久地円筒分水現地セミナー◆武蔵溝ノ口駅周

学習・文化情報

ききたい音楽がある

「辺」4月3日(金)13時半、現地集合。雨天中止。岡本雅美・日本大学教授が現地で解説。写真。無料。同所はJR武蔵溝ノ口駅から市バス溝06系統で新平瀬橋下車。問い合わせは☎(200)3306の市教委文化財課。



「あさお青年教室」◆麻生市民館「月一回、仲間と料理やハイキングを楽しむ。」

ステージ

「麻生フィル定期演奏会」◆麻生市民館「4月5日(日)14時半開演。ベートーヴェン交響曲第5番ハ短調「運命」▽伊福部昭「交響譚詩」

対象は地域の知的障害のある青年男女で、一人で同館に来られる人。定員50人(抽選)。無料。交通費、材料費は実費。申し込みははがきに氏名、住所、年齢を記し4月25日(土)までに(当日消印有効)〒215-0004麻生区万福寺1の5の2、同館「青年教室」係。問い合わせは☎(951)1300。

「ウォーキング講座」◆高津市民館「4月28日(火)13時半。はつらつとした歩き方を。講師は養島学さん。千円。先着30人。申し込みは4月15日(水)までに、はがきで〒211-0955幸区南加瀬5の38の2の705の庄司佳子さん。☎(588)7929。

ほか。指揮は小田野宏之。全自由席千円。問い合わせは☎(955)1953の横須賀さん。

「横山幸雄ベートーヴェンの夕べ」◆花ホール「4月16日(休)19時開演。新進ピアニストが「七つのバガテル」



▽「ピアノソナタ第22番へ長調」ほかを演奏。写真右全自由席4千円。問い合わせは☎(812)6090の同ホール。溝ノ口駅下車。①映画劇場「フィフス・エレメント」②子ども映画劇場「クルタ」③子どもショー◆川崎市民プラザ「①は5月2日(土)14時と18時。リュック・ベッソン監督のSFの世界②は5月9日(土)10時と14時。子犬クルタの冒険映画(日本語版)③は5月5日(祝)11時と14時。マジック、アクロバット、トランポリンショー。いずれも入場無料。当日先着各回5百人。問い合わせは☎(888)3131の同所。

「さつき寄席」◆川崎市民

「プラザ」5月23日(土)18時開演。出演は桂文治▽林家こん平▽はたけんじ▽海老一染之助・染太郎。大人2千円。前売り千800円。子ども500円。チケットは4月16日(休)9時から同プラザで。☎(888)3131。



「青リンゴ児童合唱団ミニコンサート」◆高津市民館「4月25日(土)13時半開演。宮前区の小学生の歌声。写真左。シューベルト「菩提樹」

「野ばら」▽「となりのトトロ」ほか。無料。問い合わせは☎(877)7069の住吉さん。
「川崎市民交響楽団定期演奏会」◆エポックなかはら「4月18日(土)18時半開演。ドヴォルザーク チェロ協奏曲短調▽ベートーヴェン交響曲第3番変ホ長調「英雄」ほか。指揮は藤本潤。チェロは丸山泰雄。500円。問い合わせは☎(522)6941の同交響楽団連絡事務所の中西さん。
「パーカッション・ミュージアム」菅原淳とその仲間たち◆麻生市民館「4月17日(金)18時開演。読響首席ティンパニ奏者のバスマリンバ演奏。20種類、45個以上の打楽器がくり広げるJ・S・バッハ「G線上のアリア」▽ハチャトゥリアン「剣の舞」▽カバレフスキー「道化師のギャロップ」▽ディズニーマドレーのほか全自由席大人千円、高校生以下500円。申し込み・問い合わせは☎(951)1300の麻生区文化協会。
「サカモト・ミュージック

学習・文化情報

みたい絵がある

ギャラリー

ク・スクール①創立29周年記念コンサート②新任講師紹介コンサート◆鷺沼ほか
①は4月12日(日)14時開演。会場は中央会館(有楽町線新富町駅下車)。声楽、合唱、ピアノ、フルート、モダンダンス、バレエなど。入場無料②は同校鷺沼で4月26日(日)14時半開演。声楽、ピアノ、ヴァイオリン。2千円。問い合わせは☎(8

「アートガーデンかわさき」4月12日(日)まで、杉田豊「絵本の世界」原画展。絵本の原画、表紙。大人3百円、高小大学生2百円、中学生以下無料。問い合わせは☎(222) 8821。
「スナック喫茶琴」4月11日(土)まで「鳥の写真展」▽4月13日(月)～5月2日(土)小川誠治「オーロラ写真展」問い合わせは☎(544) 0507。鹿島田駅下車。
「ギャラリー幸」4月10日(金)～15日(水)「開設8周年展」▽4月17日(金)～28日(火)

54) 6581の同校。
「ジャズコンサート」ドリーム・サウンド・イン・タカツ98◆糀ホール」4月17日(金)18時半開演。出演は原田靖&ステイ・スウィンガーズ。全自由席3千5百円。問い合わせは☎(813) 4805の高津JAZZ協会事務局の安達さん。溝ノ口駅下車。

「北の仲間展」。北海道、東北出身者の絵画、彫刻、工芸。☎(555) 8181。川崎駅西口下車。

「ギャラリー順子」4月13日(月)～19日(日)、田中順子水彩画展。色彩豊かな「木瓜とつじ」||写真||など



花の作品。☎(934) 3010。または☎(955) 6839。登戸駅下車3分。

「中村正義の美術館」4

月4日(土)～5月5日(祝)「中村正義と人人展・佐熊桂一郎」(写真は佐熊の木馬)。一般5百円、学生3百円、小学生2百円。☎(953) 4936。読売ランド前駅からバス。



「アートホール新町」4月1日(水)～30日(木)、西田秀穂・市民アカデミー講師の「写真自選展」と同会員の絵画・版画・工芸の展示。無料。☎(344) 6444。川崎新町駅から徒歩。

「市民ミュージアム」4月11日(土)～5月24日(日)、安田毅彦展。大和絵第一人者の原点の写生、下絵150点。未公開の本画「神農」も展示▽6月14日(日)まで、「街は紫煙に包まれ：世紀末の嗜好品ポスター」展。19～20世紀欧米で作られたミュシャ、ロートレックの酒、煙草の作品50点。一般

7百円、小大学生3百円。☎(754) 4500。

スポーツ

①空手道②剣道③少林拳法④なぎなた⑤合気道⑥柔道◆石川記念武道館

①は4月18日～7月4日の毎週土曜18時15分、全12回
②は5月19日～7月9日の毎週火曜と木曜17時、全16回
③は5月21日～7月9日の毎週木曜18時、全8回
④は5月23日～7月11日の毎週土曜15時、全8回
⑤は5月19日～6月13日の毎週火曜と土曜19時、全8回
⑥は5月19日～6月11日毎週火曜と木曜18時、全8回
いずれも対象は小学生以上(抽選)。受講料は1回子供50円、大人100円。申し込

みは①4月12日(日)9時55分②～⑥5月10日(日)9時55分に直接来館。詳細は☎(544) 0493の同館。

「女性硬式テニス教室①初級者②中級者◆川崎市民プラザ」5月11日～7月13日の毎週月曜①10時②13時、全10回。定員は①30人②20人(抽選)。受講料はいずれも1万2千円。申し込みは4月14日(火)必着で往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、コースを記し〒21310014高津区新作1の19の1、同教室係。詳細は☎(888) 3131。

●幸スポーツセンターから申し込み日時変更のお知らせ。ヨーガ入門は4月21日(火)14時▽親子スポーツ教室は4月23日(木)10時▽少年スポーツ教室は4月23日(木)16時。

会員募集

●元住吉詩吟教室《中原区下小田中6の14の21、武田忠男代表》詩吟で人生を豊かにしませんか。老若男

女、経験問わず、ご参加下さい。第1・2・3金曜13時半から、市国際交流センター。入会金なし、月会費3千円。連絡は☎(751) 7548の同代表。

ミニニュース



墨田が音楽のまちに

新日本フィルと提携

昨年10月オープンした墨田区文化財団の「すみだトリフォニーホール」が話題になっている。同ホールが

「新日本フィルハーモニー交響楽団」（名誉芸術監督・小澤征爾）のフランチャイズになったからだ。公共施設とプロ演奏団体が提携したのは画期的なこと。音楽家にとっては「ホールも楽器のひとつ」。同ホールで練習できる新日本フィルは、演奏にいつそう磨きがかかり、同ホールの特徴を生かした音づくりもできる。

また、同区から団員に給料が支給され、生活が安定したため、優秀な団員が増えたという。新日本フィルは区民のために「コミュニティ・コンサート」を開いたり、小中学生のための鑑賞教室などの音楽教育をしている。チケット代も「新日本フィルおすすぬコンサート」は一般3千円だが、

同区在住の勤者は千8百円、小中学生・シルバーが千円とヨーロッパ並みの安さ。

まだ、日本では「文化はカネ食い虫」論が幅を利かしているが、芸術家と区民が参画する音楽のまちづくりを実現した墨田区はお見事と評判(Y)。

支え合いの輪広がる

骨髄バンクの集い

「骨髄バンクを知る市民の集い」が2月に高津市民館であり、長野冬季オリンピック開幕日にもかかわらず、150人の市民が参加した。「シンポジウム」骨髄バンクQ&Aは、司会が妹から骨髄移植を受けた鎌田麗子さん。パネリストは荻原博志・聖マリアンナ医科大学病院小児科医師、患者の骨髄移植経験者とドナーの骨髄提供者。

4年前移植を受けた女性は「ドナーさんが合意して下さったと聞き、見知らぬ人からもらってもいいのかなの思いが希望にかわった」と述べた。ドナー経験の男性は「全身麻酔のため不安はあったが、成し遂げられ

てうれしかった。骨髄の提供を受けた患者さんが、元気になっていることを願っている」と話した。

集いでは、高津市民オーケストラと高津市民合唱団が演奏し、支え合い・ふれあいの輪を広げた(Y)。

川崎市の公共施設に
なぜない「ふらあぼ」

「月刊ふらあぼ」は、演奏会や新譜、テレビ放映の情報などを掲載しているクラシック・ファンには人気のある情報誌。毎月、首都圏約380カ所のホールやレコード・楽器店で配布。だが、川崎市内のホールでの配布はゼロ。

県民ホール、県立音楽堂、港南区民文化センター（横浜市）、フリーアホール（同市青葉区）、グリーンホール相模大野、藤沢市民会館、鎌倉芸術館、よこすか芸術劇場などの県内の公共施設では手にすることができない(Y)。

家庭のぬくもりは？

北野大さん講演

家庭や地域とは何かを考えるビートたけしの兄で、

淑徳大教授の北野大さんの講演会が、このほど宮前市民館であった。

北野さんは、ある朝、自分が母親とけんかをして、学校へ行ったときの思い出として「帰りにおふくろが駅で自分を待っていて『お前にだけ特別だよ』と、すしをこそうしてくれ、とてもいい気分になった」と母親の温かい気配りを話し、しみみりとさせた。だが、「後で分かったが、おふくろは兄や弟にも『特別』をしていた」と述べて、会場をわかせた(S)。

父親の役割とは？

活発にシンポジウム

青少年の犯罪が多発しているが、「家庭・地域における父親の役割」と題するシンポジウムが、2月に新百合21ホールであった。

問題提起者・パネリストは教育評論家の斎藤次郎さん▽「子育て楽会」楽長、古郡宗正さん▽「都築おやし学」の福富洋一郎さんら。「父親の役割はこれ、ではなく、父母の境界線を取り払って考えたほうがいい」

「さまざまな家族を見て、おやじが行動すると家族も動く傾向にある。いろいろな活動に参加を」「自分の子供が幼いころは、すべて妻任せだった。今は、よそのおじさんとして地域の子供たちとかかわり、これまでは異なった視点が得られた」などと各パネラーが体験に基づき発言。地域への参加が家庭にもいい影響を与えるようだ(S)。

子供は大人の私物か？

不登校テーマに講演会

不登校の小中高生や社会になじめない若者が集うフリースペース「たまりば」主宰、西野博之さんの講演が2月中旬、福祉パルみやまえてあった。「今の子供は『ありのままの自分でいいんだ』というメッセージを受けて育っていない。不登校という現象は、大人が用意したプログラムへの拒否」と指摘した。

「たまりば」は子供たちそれぞれが好きな時間に来て、思い思いに時を過ごす用意されたプログラムもな

15ページにつづく

お勧め本

さめた目で過酷な体験を

「イギリス人の患者」

M・オンダーチェ著
(新潮社、千七百円)

多摩区菅北浦、星丘直樹さん
映画が賞をとって有名になった原作の小説。戦争が終わったばかりで、荒廃した尼僧院に残ったイギリス人の患者と、彼をみとる若い看護婦に、彼女の叔父の泥棒、爆弾処理の工兵が加わり奏でる物語である。

各人にそれぞれの厳しい体験があった。ひん死のイギリス人患者の思いは砂漠へ飛び、探検隊のなかでの

小誌は約2百カ所で配布

小誌は川崎信用金庫本店と市内全支店・出張所計40カ所、横浜銀行の市内全支店18カ所、神奈川県労働金庫の市内全支店4カ所、各区役所、支所・出張所・各行政サービスコーナー、各市民館・分館、各図書館、各公園事務所と次の所で配布しています。

〔川崎区〕さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽住友銀行川崎支店▽JR川崎駅▽市立川崎病院▽太田総合病院▽東京電力川崎支社▽有隣堂川崎BE店・アゼリア店▽当事業団情報

不倫の始まりと別れ、不意打ちの狂気による凄まじい結末を語る。看護婦はあまりに多くの心身の破壊を目にしてきて、静かに聞いている。工兵は任務から、過酷な運命を目の当たりにしてきた。泥棒は束縛から逃れてきて行き場がない。静かな丘の上の尼僧院が、物語を抱えた人々を包んでいる。

フラッシュバックによる断片的で映像的な語り。厳しい運命へと読者を導きながら、砂漠、イタリヤ美術など、心をそそる描写が差しはさまれる。重い題材をさめた感覚と詩的な目によって紡ぎ上げた作品である。

コーナー(教育文化会館1階)▽市立体育館▽青少年センター▽市役所市民相談室▽かわさき情報プラザ(市役所第3庁舎2階)▽労働会館▽ヨネットイー堤根▽サンライフ川崎▽浮島町公園▽川崎マリエン▽川崎愛泉ホーム▽パン工房「ババゲーノ」▽ライブハウス「JAZZびあにしも」

〔幸区〕石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽産業振興会館
〔中原区〕市立井田病院▽市民ミュージアム▽エポックなかはら▽中小企業婦人会館▽総合自治会館▽会館とどろき▽フードハウス大野屋小

〔高津区〕さくら銀行溝口支店▽東京電力高津営業所▽川崎市市民プラザ▽イトーヨーカドー溝口店▽川崎溝口・千年郵便局▽大山街道ふるさと館▽高津市民館情報コーナー(ノクティ1階)▽高津スポーツセンター

〔宮前区〕住友銀行宮崎台支店▽聖マリアンナ医科大学病院▽サカモトミュージックスクール鷺沼校▽田中歯科医院▽りょうかわ矯正歯科クリ

〔麻生区〕住友銀行新百合ヶ丘支店▽さくら銀行柿生支店▽つつみ歯科新百合ヶ丘▽ホワイト急便金程店▽有隣堂新百合ヶ丘店▽麻生スポーツセンター▽ヨネットイー王禅寺▽ゆりストア百合丘本店・柿生店・三井店▽東柿生郵便局▽ゆりがおか児童図書館

あなたの読書後の感動
喜びを広げませんか？

「お勧め本」欄へご投稿のお願い

本の題名、著者、出版社、価格、あなたの住所・氏名・電話番号を明記して下さい。
読後感 は16字取り25行前後にまとめて下さい。見出しは編集チームでつけます。
掲載後、小誌特製テレホンカードをお送りします。

あて先は〒215-0004麻生区万福寺1の2の2、新百合21ビルB2、(財)川崎市生涯学習振興事業団ステージ・アップ編集チーム「お勧め本」係。

13ページのつづき
く、イベントや行事は掲示板などで呼び掛ける「この指とまれ」方式。

西野さんは「子供が学校へ戻るような助言はしない。ここでは、自分への気づきを大切にしている」といい、子供たちが、親や他人の価値観に合わせた自分を

見つめ直すと自信を取り戻し変わると断言した。そして、今後は「不登校の子だけの空間ではなく、年齢、国籍を越えた多様な出会いとコミュニケーションの場

にしたい」と話した(S)。

新人が思い込め ガラスの芸術展

中原区の東京ガラス工芸研究所の「卒業制作展」が2月下旬、JR川崎駅前のアートガーデンかわさきであり、50人の「ガラスの新しい人」の作品が展示され



た。目を引いたのは、粘土を周囲に配し、七色のガラスの輪を閉じ込めたような作品「でも、広がる」―写真。自然光に照らされ動き出しそう。鑑賞した女性は「光を通すことで変化と感動が生まれる作品を作ってみたい」と話す。

同研究所(☎43412544)は、81年に開校した日本初のガラス工芸専門学校。平日夜間、土曜、日曜の吹きガラス公開講座には受講希望者が急増している(工)。

「キレる」現象は子供たちだけなの

寅年になった途端、中学生の凶暴な事件が続く。イラストレーター渡辺和博さんは「いままで学校で習った日本語で解説できない新型の不安」が青少年の心を包んでいて「言葉によって生活している生物なので、不安を説明する言葉がない場合ブツンする」と見る(朝日新聞2月25日付け)。

解剖学者でかわさき市民アカデミー講師の養老孟司

さんは、「ことばを使うのはヒトだけ。体中の神経を通して、見る、聞くなどの五感の情報が脳に集まり、情報が脳を通過してはじめてことばになる」といい、自然や現実を見分け、感じる能力が感性で「実体との関連を失うことばも衰退する」と話し、ことばで自己表現できなくなった状況について分析している(昨年12月、新百合21ホールでの講演「ことばと脳」)。「キレる」は子供だけの現象ではないのか(工)。

河井秀子さん出品の 創作ひな人形展開く

「春を彩る創作ひな人形展」がこのほど、銀座和光であり、50の作品がひと足早い春を彩った。今号「いまを話す」ゲスト、河井秀子さん制作のお雛さまも展示された。河井さんの作品は、細長い木の板に、お内裏様とお姫様が肩をならべた壁掛けのお雛さまで、ふつくらしたほがが印象的。

なお、河井さんの個展が6月13日(土)から19日(金)銀座和光である(玉)。

編集後記

前月号「いまを話す」のゲスト、特別養護老人ホーム「緑陽苑」事務長、岸田孝史さんへのインタビュー記事は三、四十代の女性からも反響があり、やや意外な感じもあり、昨年十二月、介護保険法が国会で成立した前後から、新聞は数ページを割いて大々的に報じ、テレビも学識経験者を動員して特集番組を組んだ▼新聞、テレビとも、保険法への評価は厳しく否定的報道が目立った▼そのとき、私は「あれだけマスコミが報じたのだから、ステージ・アップでやることもない」とばく然と思つた▼その一方で、老人介護が原因で家庭が崩壊する悲惨な現状もあって「生涯学習の目的が、地域社会をよみがえらせ、個々人の生きる力を高めることにあるのなら、ステージ・アップで老人福祉・医療の問題を持

つづけて載せて」とのご意見が数多く寄せられてきた事実が頭をよぎった▼その数日後、川崎区のWさんと久しぶりに会うと「いつもそうなんだ、テレビや新聞は決まってから大騒ぎする。いままら「問題点が多すぎるようです」なんていわれても。それなら、もっと早く報道しろ、って感じ」と彼は吐き捨てるようにいった▼その際、「マスコミの一過性」という言葉が浮かび「切り口を変えれば、二番煎じにならない」と確信した▼先日の編集会議で、スタッフから「ステージ・アップを読んで、初めて介護保険の問題点や中身が分かったという方がかなりいて、うれしかった反面、マスコミ報道の在り方を考えさせられた」「あの記事は関心度が高く、あと一、二ページ欲しかったとの声もでも、そうすると『グループ紹介』が消えてしまう」とのうれしい悩みが出された▼今月号の「いまを話す」は河井秀子さん▼苦を楽に変える力をお持ちのようだ▼暗いニュースが多い中、心からお楽しみを(田)。

第20期

「あそびの寺子屋」の会員募集

～基本的な生活技術を身につけよう～

小学4
～6年

「便利過ぎてつまらない」ことだってあるんだ

夢ある「昔のくらし」体験を

● 応募できる人 市内の小学4～6年生

● 活動の方法 毎月1回、宿泊しながら活動

● 定員 50人(先着順)

● 費用 入会金1万円▽年会費6千円▽他に毎月、食事代、宿泊費、材料費

● 申し込み 4月1日(水)～23日(木)、☎(855)

1787の小林方・同寺子屋事務局

● 主催 川崎市野外活動研究会

● 後援 川崎市教委、当事業団

月 日	テーマ・内容	会 場
4月25日(土) 26日(日)	「寺子屋」開き～ 仲間づくりと約束	市青少年の家
5月16日(土) 17日(日)	ハイキングをしながら 町の様子を調べる	市青少年の家
6月20日(土) 21日(日)	テントの張り方を体験	黒川青少年野外 活動センター
7月18日(土) 19日(日)	キャンプを楽しむ～ テントの生活や野外料理	黒川青少年野外 活動センター
8月7日(金) ～9日(日)	夏休み親子キャンプ～ 大自然の中で生活	八ヶ岳少年 自然の家
9月19日(土) 20日(日)	生活用具をつくり、 自然の中での寝泊まり	黒川青少年野外 活動センター
10月17日(土) 18日(日)	自然の中を歩き、 その変化、仕組みを探る	黒川青少年野外 活動センター
11月21日(土) 22日(日)	日本民家園を訪ね昔の 人の生活と工夫を調べる	黒川青少年野外 活動センター
12月19日(土) 20日(日)	お正月のしたくは なんのため	黒川青少年野外 活動センター
1月16日(土) 17日(日)	むかしのあそびを体験	市青少年の家
2月20日(土) 21日(日)	子どもは風の子～ いろいろなタコを作る	市青少年の家
3月20日(土) 21日(日)	「寺子屋」の一年間を 振り返る	市青少年の家

●テーマ・内容は簡略化しています

●発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話044(952)5000代
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺一の二、新百合21ビル
044(952)1350 編集人・田中 園